

平成30年8月16日
独立行政法人国立高等専門学校機構
理事長 谷口 功

高専の将来ビジョン

産業界／教育界はもとより
地域社会／国際社会の変革・発展に貢献する
我が国の独自（ユニークな）の高等教育機関

（中堅技術者ではなく）

社会変革にチャレンジし、科学技術の成果を社会実装することで、
人や社会にイノベーションをもたらす Social Doctor（社会のお医者さん）を育成

- 1) 新しい産業を創る／新しい産業を担う人「財」の育成
同世代の1%をひと味違うプロフェッショナルに育成：
さらに、その10%を超一流／超希少価値のエンジニア・クリエイターに
この人財育成のために、社会実装を念頭においた高専の研究開発力の飛躍的な
強化を図る（産業界との連携／地域性や独自性を持った特色ある新規産業の創成
／国内（外）高専のネットワーク化／国内外の大学・研究機関等との連携を進め
る中で）
- 2) 教育改革を先導する高専教育
 - ・教育の質保証
 - あ) モデルコアカリキュラム（MCC）の内容の充実と達成度チェックによる検証
学生の立場から：教員が何を教えたかではなく、
学生が何を獲得したか、何が出来ようになったかの徹底！
全高専共通の高専教育の質保障（MCC）と各高専の特色を活かした
独自性を両立させた教育内容の確立
 - い) 工学系産業人財育成に関する我が国の高専教育の国際標準化へ
高専モデル教育のKOSEN教育システムとしての国際化
アジア地域を中心とした新興国、北欧を中心とした欧州、中南米諸国、
アフリカ諸国等で高専教育の導入が求められている
 - ・高専教育の国際標準化
高専教育の質保証を踏まえて、さらに、高専教育の国際的な質保証に向けて、
“KOSEN”の商標登録と、我が国独自の高専教育内容の国際的標準化を進める
 - ・高専教育が今後の我が国の教育改革を先導する
教育の質保証と国際標準化を進める中で我が国の教育改革（高大連携等を含む）
を先導する

さらに、変革が進む学習指導要領等（初中教育での情報教育や実験の導入等、実務力を育成する教育課程への改訂）、教育改革を全国的に進めるための実務教育支援を含む教育改革支援（我が国の教育レベルの向上に資する）

3) 地域社会を支える高専の人財育成

地域社会の活性化に不可欠の存在：地方創生の要（若者の存在自体も重要）
地方に存在する高専は、それ自体が地域の経済を支える大きな存在（例えばシンクタンク／オピニオンリーダー／コーディネーターとしての役割も含む）であり、地域活性化の拠点／地域の産業／文化を支える存在である。
すなわち、地域の活力の源として、特に、地域を世界に繋ぐ役割を持っている。また、同時に高度人財の供給源として、地域の産業・経済活動や社会活動を支えている。
これからも、地域の特性を基盤として、この役割を十二分に果たすことをミッションとする

4) 国際社会の発展に貢献する高専

“KOSEN”は今や国際語

各国の要請に呼応して、KOSEN教育システムの海外展開による、
新興国・発展途上国等の人材育成への貢献

真似ではなく、自ら創り出す力（価値の創造）をもって、

未来を設計する能力を身につけた人財の育成に貢献

日系企業を含め、国際社会で、十分に活躍できる人財

（我が国での卒業生一人当たり20社を超える求人や奨学金（育英会）返納率は100%の実績と同じ程度の力を持つ人財）として育成

5) 第3期を通じ、モデルコアカリキュラムによる高専全体の質保証や、“KOSEN（高専）4.0”イニシアティブによる各高専の強み・特色の伸長を進め、高専教育の高度化を進めている中で、新たな課題が見えてきた。

上記の高専の将来ビジョンを実現する上では以下の課題の解決が不可欠である。

- あ) 高専運営の計画性・継続性・安定性を担保するための財源の確保。
- い) 各高専における硬直的な教職員の配置や、教員人事交流制度の未整備。
- う) 各国立高専が有する強み・特色を伸長するためのマネジメント体制の構築と共通課題への対応に向けた高専機構のガバナンス機能の強化。

高専の人財育成の基本理念

時代の先を見据えて、変化する力を持った人財として育成
科学や技術は、社会に役立って、その真価が示される（社会実装の重要性）との基本的な認識のもと、望ましい社会に向けたイノベーションを興すために、
成功は失敗のもと（失敗は成功のもとではあるが）と心得え、
地域を知り、世界を知り、自らを知って、
高い志と粘り強さを特徴とする高専スピリッツ（チャレンジ精神）で
社会に貢献する（社会や人々に役立つ）！